

第11回21世紀成年者縦断調査【平成14年成年者】

国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

(平成24年11月7日調査)



厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号			

地区番号		単区番号		世帯番号	

出生年月			
昭和		年	
		月	

出生年月をご確認ください。----->
記載されていない場合はご記入願います。

問1 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている ----->

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である ----->

問3へお進みください

3 仕事についていない

1 家事に従事している

2 通学している ----->

3 頁の問7へお進みください

3 その他

問3 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている -----> 次頁の問4から補問4-4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください

2 ひとつの仕事にのみについている

問4 現在ついている仕事は1年前（平成23年11月1日）についていた仕事と同じですか。なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でもアルバイトやパートの方が正規の職員・従業員に変わるなど、形態が変わった場合は「2 違う」とお答えください。

- 1 同じ-----▶ 問5へお進みください
 2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問4-1 現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください（問6まで同様です）。

- 1 会社などの役員・自営業主
 2 自家営業の手伝い
 3 自宅での賃仕事（内職）
 4 正規の職員・従業員
 5 アルバイト
 6 パート
 7 労働者派遣事業所の派遣社員
 8 契約社員・嘱託
 9 その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

雇用保険（失業保険）に加入していますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 している
 2 していない
 3 わからない

補問4-2 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|--------------|
| 1 1～4人 | 4 100～299人 | 7 1000～4999人 |
| 2 5～29人 | 5 300～499人 | 8 5000人以上 |
| 3 30～99人 | 6 1000～999人 | 9 官公庁 |

補問4-3 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------|----------------|
| 1 専門的・技術的な仕事 | 5 サービスの仕事 | 9 生産工程・労務作業の仕事 |
| 2 管理的な仕事 | 6 保安の仕事 | 10 その他の仕事 |
| 3 事務の仕事 | 7 農林漁業の仕事 | |
| 4 販売の仕事 | 8 運輸・通信の仕事 | |

補問4-4 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

- 1 平成23年 月
 2 平成24年 月

問5 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分		

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問6 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----> 問7へお進みください
2 仕事为主である	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします
3 通っていない	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問7 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。）

1 思っている	-----> 補問7-1へお進みください
2 思っていない	-----> 1年前からずっと仕事についていない方は6頁の問12へお進みください この1年間に仕事をやめた経験がある方は次頁の問8へお進みください

補問7-1 どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事（内職）	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この1年間（平成23年11月1日以降）に仕事をやめたことがある方

問8 この1年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）									
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	
1年前（平成23年11月1日）についていた仕事		平成 年 月										
平成23年11月1日以降に新たについていた仕事	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

補問8-1 1年前（平成23年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

1 自分の希望する仕事ではなかったから	14 健康がすぐれなかったから
2 能力・実績が正當に評価されなかったから	15 家族の介護のため
3 給与・報酬が少なかったから	16 家族が転勤したから
4 労働時間が長かった・休暇が少なかったから	17 育児休業がとりにくかったから
5 独立・起業のため	18 会社から出向・転籍を命ぜられたから
6 通勤時間が長かったから	19 希望退職に応じたから
7 転勤が多かったから	20 倒産したから
8 一時的・不安定な仕事だったから	21 解雇されたから
9 人間関係がうまくいかなかったから	22 契約期間が満了したから
10 会社の経営方針に不満を感じたから	23 初めから短期のつもりだったから
11 事業又は会社の将来に不安を感じたから	24 新しい仕事が見つかったから
12 結婚のため	25 勉強のため
13 出産・育児のため	26 その他（ ）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、仕事についている方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問9 あなたは今後出産する場合に、出産した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「4 今後の出産は考えていない」に○をつけてください。）

- 1 出産した後も続ける 2 出産を機にやめる 3 続けるかどうか考えていない 4 今後の出産は考えていない

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問10 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働（残業）の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方

問11 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成23年11月～平成24年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	▶ 平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が 平成23年11月～平成24年10月にかかる場合に、 実際の取得期間をすべて記入してください。 （記入例） 育児休業取得期間が平成23年7月から平成24年6月 までの場合、平成23年7月～平成24年6月 となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1） 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2） (3)の内容は、この頁の問10の(3)と同様です。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問15 この1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含まれます。

1 結婚した----->	配偶者の生年月日 同居を開始した年月 1 昭和 年 月生 2 平成 年 月生 平成 年 月
2 離婚した	
3 配偶者と死別した	
4 上記1～3のようなことはなかった	

補問15－1 現在、妊娠していますか。

1 している	2 していない・わからない
--------	---------------

問16 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	----------------------	----	----------------------	---	----	----------------------	----	----------------------	---

問17 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しい場合は、0人と記入してください。）

	人
----------------------	---

問18 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください（以下の質問についても同様です）。

	人（ご本人は含みません）
----------------------	--------------

問19 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、（1）、（2）のみお答えください。）

（1）あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
（2）あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
（3）配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
（4）配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

配偶者がいない方で、親御さんと同居している方のみお答えください

補問19-1 あなたの世帯で主に家計を支えているのはどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 あなた | 3 きょうだい | 5 その他 |
| 2 配偶者 | 4 父親・母親 | 6 わからない |

補問19-2 あなたは生活費を家計に繰り入れていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。入れている場合は、毎月の平均額を記入してください。

1 入っていない 2 入れている 万円（99万円以上の場合は「99」と記入してください）

補問19-3 あなたの父親の現在の年齢はおいくつですか。（父親がいらない場合は、00歳と記入してください。）

歳

これまでに会社等に勤めたことがある方（アルバイト・パート等も含む）

問20 あなたがお勤めになっている（または勤めていた）会社等には、以下のような、仕事と介護の両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	①で「ある」とお答えになった制度についてお答えください。			④ 現在または今後、介護のために制度を利用したいと思いますか。
	② あなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。	③ その制度を利用した場合の給与	あなたが利用するにあたっての雰囲気はどうか。	
(1) 介護休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない
(2) 所定労働時間の短縮等の措置	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない

- 注：1）複数の仕事についている場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。
 2）所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。
 所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度

同居しているご家族に介護が必要な方がいらっしゃる方のみお答えください

問21 介護が必要な方の、平日の日中の世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|-------------------|
| 1 あなた | 4 配偶者の父母 | 7 その他（知人・友人等） |
| 2 配偶者 | 5 あなたの子ども | 8 なし（介護サービス利用のみ等） |
| 3 あなたの父母 | 6 その他の家族・親族 | |

すべての方

問22 この1年間（平成23年11月～平成24年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

----- 1 した 2 していない

補問22-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチン は含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

問23 お子さんはいますか。

----- 1 いる 2 いない -----> 次頁の問24へお進みください

補問23-1 お子さんについて、年令の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	（同居している小学生の お子さんについて） 現在の放課後児童（学童） クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問23-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^(注) | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 利用していない |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

補問23-3 小学校入学前のお子さんの、平日の日中の世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用の場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

補問23-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、利用を希望するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^(注) | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 特になし |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

すべての方（最後まで）

問24 現在のあなたの暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1 大変苦しい | 3 普通 | 5 大変ゆとりがある |
| 2 やや苦しい | 4 ややゆとりがある | |

問25 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の、平成23年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1) あなたの所得」のみお答えください。

平成23年1年間の所得	
(1) あなたの所得	1 あり 金額 万円 2 なし
(2) 配偶者の所得	1 あり 金額 万円 2 なし

子ども手当の受給

1 あり

2 なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年2回）
その他の所得（不動産所得、子ども手当等）
年間10万円
の場合、
 $20万 \times 12 \text{ か月} + 40万 \times 2 \text{ 回} + 10万$
 $= 330万円$ となります。

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3) その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、子ども手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まれます。

問26 あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が、平成24年10月の1か月間に支出した額を記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成24年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

結果送付不要

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課世帯統計室
成年者縦断統計第一係
電話：(03)5253-1111(内線7592)
(03)3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。

第11回21世紀成年者縦断調査【平成14年成年者】

国民の生活に関する継続調査
〔男性票〕

(平成24年11月7日調査)



厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号

地区番号

単区番号

世帯番号

出生年月

出生年月をご確認ください。----->
記載されていない場合はご記入願います。

昭和

年

月生

問1 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成

年

月

平成

年

月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である

3 仕事についていない

----->問3へお進みください

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

----->3頁の問7へお進みください

問3 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている----->次頁の問4から補問4-4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください

2 ひとつの仕事にのみについている

問4 現在ついている仕事は1年前（平成23年11月1日）についていた仕事と同じですか。なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でもアルバイトやパートの方が正規の職員・従業員に変わるなど、形態が変わった場合は「2 違う」とお答えください。

- 1 同じ-----▶ 問5へお進みください
 2 違う（1年前に仕事についていなかった方も含みます）

補問4-1 現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください（問6まで同様です）。

- 1 会社などの役員・自営業主
 2 自家営業の手伝い
 3 自宅での賃仕事（内職）
 4 正規の職員・従業員
 5 アルバイト
 6 パート
 7 労働者派遣事業所の派遣社員
 8 契約社員・嘱託
 9 その他
- 勤め先における呼称を基準にお答えください。
- 雇用保険（失業保険）に加入していますか。
 あてはまる番号1つに○をつけてください。
- 1 している
 2 していない
 3 わからない

補問4-2 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 1～4人
 2 5～29人
 3 30～99人
 4 100～299人
 5 300～499人
 6 500～999人
 7 1000～4999人
 8 5000人以上
 9 官公庁

補問4-3 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 専門的・技術的な仕事
 2 管理的な仕事
 3 事務の仕事
 4 販売の仕事
 5 サービスの仕事
 6 保安の仕事
 7 農林漁業の仕事
 8 運輸・通信の仕事
 9 生産工程・労務作業の仕事
 10 その他の仕事

補問4-4 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

- 1 平成23年
 2 平成24年
- 月

問5 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分		

注：1) 就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

(記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。)

2) 通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問6 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----> 問7へお進みください
2 仕事为主である	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします
3 通っていない	-----> 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問7 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいとお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。)

1 思っている	-----> 補問7-1へお進みください
2 思っていない	-----> 1年前からずっと仕事についていない方は6頁の問11へお進みください この1年間に仕事をやめた経験がある方は次頁の問8へお進みください

補問7-1 どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事(内職)	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この1年間（平成23年11月1日以降）に仕事をやめたことがある方

問8 この1年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）									
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	
1年前（平成23年11月1日）についていた仕事		平成 年 月										
平成23年11月1日以降に新たについていた仕事	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	平成 年 月	平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

補問8-1 1年前（平成23年11月1日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

1 自分の希望する仕事ではなかったから	14 健康がすぐれなかったから
2 能力・実績が正當に評価されなかったから	15 家族の介護のため
3 給与・報酬が少なかつたから	16 家族が転勤したから
4 労働時間が長かつた・休暇が少なかつたから	17 育児休業がとりにくかつたから
5 独立・起業のため	18 会社から出向・転籍を命ぜられたから
6 通勤時間が長かつたから	19 希望退職に応じたから
7 転勤が多かつたから	20 倒産したから
8 一時的・不安定な仕事だつたから	21 解雇されたから
9 人間関係がうまくいかなかつたから	22 契約期間が満了したから
10 会社の経営方針に不満を感じたから	23 初めから短期のつもりだつたから
11 事業又は会社の将来に不安を感じたから	24 新しい仕事が見つかつたから
12 結婚のため	25 勉強のため
13 出産・育児のため	26 その他（ ）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問9 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働（残業）の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方

問10 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成23年11月～平成24年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	▶ 平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が 平成23年11月～平成24年10月にかかる場合に、 実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成23年7月から平成24年6月 までの場合、平成23年7月～平成24年6月 となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、この頁の問9の(3)と同様です。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

すべての方

問11 働くことに対するあなたの考え方をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 生計を維持するため | 8 働くことが生きがい |
| 2 家計に余裕をもつため | 9 能力や専攻・資格を生かすため |
| 3 経済的に自立するため | 10 趣味・娯楽等の費用を得るため |
| 4 社会人の責任・義務 | 11 特別な意義はない |
| 5 社会に貢献するため | 12 わからない |
| 6 社会に認められるため | 13 その他 () |
| 7 人間的な成長のため | |

主なものの番号記入欄

--	--

問12 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。
また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。
（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した→平成 年 月 →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 中学校</td> <td style="width: 33%;">4 短大・高専</td> <td style="width: 33%;">7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
2 中退した→平成 年 月 →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 中学校</td> <td style="width: 33%;">4 短大・高専</td> <td style="width: 33%;">7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
3 入学した→平成 年 月 →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 中学校</td> <td style="width: 33%;">4 短大・高専</td> <td style="width: 33%;">7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
4 上記1～3のようなことはなかった										

問13 あなたには、現在、配偶者はいますか。

なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます（以下の質問についても同様です）。

- 1 いる-----→現在、配偶者と同居していますか。

- | | |
|-----------|--|
| 1 同居している | |
| 2 同居していない | |

- 2 いない

問14 この1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	配偶者の生年月日 同居を開始した年月	1 昭和		年		月生
2 離婚した		2 平成		年		月生
3 配偶者と死別した		平成		年		月
4 上記1～3のようなことはなかった						

問15 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

問16 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、0人と記入してください。）

		人
--	--	---

これまでに会社等に勤めたことがある方（アルバイト・パート等も含む）

問17 あなたがお勤めになっている（または勤めていた）会社等には、以下のような、仕事と介護の両立のための制度でああなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。	①で「ある」とお答えになった制度についてお答えください。		④ 現在または今後、介護のために制度を利用したいと思いますか。
		② その制度を利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての雰囲気はどうか。	
(1) 介護休業制度	1 あ 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない
(2) 所定労働時間の短縮等の措置	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない

注：1）複数の仕事についている場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。
2）所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。
所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

**配偶者がいる方で、現在、配偶者が仕事についている方
(休業中、アルバイト・パート等も含む)**

問18 あなたの配偶者が、今後出産する場合に、出産した後も配偶者が現在の仕事を続けることを希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(今後の出産を考えていない方は、「5 今後の配偶者の出産は考えていない」に○をつけてください。)

- | | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|---------|------------------------|
| 1 出産した後も
続けてほしい | 2 出産を機に
やめてほしい | 3 配偶者の意向を
尊重したい | 4 わからない | 5 今後の配偶者の出産は
考えていない |
|--------------------|-------------------|--------------------|---------|------------------------|

すべての方

問19 現在のあなたの暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1 大変苦しい | 3 普通 | 5 大変ゆとりがある |
| 2 やや苦しい | 4 ややゆとりがある | |

配偶者と同居している方

⇒ 今回の調査はすべて終了です。

配偶者がいない方・配偶者と別居している方

⇒ 引き続き該当する項目に
記入をお願いいたします。

問20 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。(以下の質問についても同様です)。

		人(ご本人は含みません)
--	--	--------------

問21 あなた及びあなたの配偶者の両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。(配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。)

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

親御さんと同居している方のみお答えください

補問21-1 あなたの世帯で主に家計を支えているのはどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1 あなた | 3 きょうだい | 5 その他 |
| 2 配偶者 | 4 父親・母親 | 6 わからない |

補問21-2 あなたは生活費を家計に繰り入れていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
入れている場合は、毎月の平均額を記入してください。

1 入っていない	2 入れている		万円（99万円以上の場合は「99」と記入してください）
----------	---------	---	-----------------------------

補問21-3 あなたの父親の現在の年齢はおいくつですか。
(父親がいらない場合は、00歳と記入してください。)

	歳
---	---

同居しているご家族に介護が必要な方がいらっしゃる方のみお答えください

問22 介護が必要な方の、平日の日中の世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

1 あなた	4 配偶者の父母	7 その他（知人・友人等）
2 配偶者	5 あなたの子ども	8 なし（介護サービス利用のみ等）
3 あなたの父母	6 その他の家族・親族	

配偶者がいない方・配偶者と別居している方は、引き続き記入をお願いします

問23 この1年間（平成23年11月～平成24年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在は含みません。

1 した	2 していない
---	--

補問23-1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計〕 〔※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。〕 〔※ダイニングキッチン は含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問24 お子さんはいますか。

1 いる	2 いない	▶ 次頁の問25へお進みください
------	-------	------------------

補問24-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

	性別	出生年月	同別居 の別	(同居している小学生の お子さんについて) 現在の放課後児童(学童) クラブの利用の有無
1	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
2	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
3	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
4	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
5	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし
6	1 男	1 昭和 年 月	1 同居	1 あり
	2 女	2 平成 年 月	2 別居	2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問24-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 認可保育所(園) | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 <small>(注)</small> | 7 幼稚園(預かり保育を除く) |
| 3 認可外保育施設(事業所内託児施設を除く) | 8 利用していない |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業(保育ママ) | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた(現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者)が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

補問24-3 小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他(友人・知人等) |
| 4 あなたの母 | 9 なし(保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます) |
| 5 配偶者の父 | |

補問24-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、利用を希望するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 認可保育所(園) | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 <small>(注)</small> | 7 幼稚園(預かり保育を除く) |
| 3 認可外保育施設(事業所内託児施設を除く) | 8 特になし |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業(保育ママ) | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなた(現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者)が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

配偶者がいない方・配偶者と別居している方は、引き続き最後までお答えください

問25 あなたの平成23年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

平成23年1年間の所得	
あなたの所得	1 あり 金額 万円
	2 なし 子ども手当の受給 1 あり 2 なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年2回）
その他の所得（不動産所得、子ども手当等）
年間10万円
の場合、
 $20万 \times 12 \text{ か月} + 40万 \times 2 \text{ 回} + 10万$
 $= \underline{330万円}$ となります。

- 注：1） 1万円未満は四捨五入してください。
2） わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
3） その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、子ども手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含まず。

問26 あなたが平成24年10月の1か月間に支出した額を記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他の家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成24年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

- 注：1） 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。
2） 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

結果送付不要

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課世帯統計室
成年者縦断統計第一係
電話：(03)5253-1111(内線7592)
(03)3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日9:30～18:15)
Eメールa-cohort@mhlw.go.jp



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。

第11回21世紀成年者縦断調査【平成14年成年者】

国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（女性用）〕

(平成24年11月7日調査)



厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号

地区番号

単位区番号

世帯番号

出生年月

昭和
21

平成

年

月生

出生年月をご確認ください。……………→
記載されていない場合はご記入願います。

問1 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である

3 仕事についていない

→次頁の
補問2-1～2-2へ
お進みください

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

→ 3頁の問5以降の該当する項目に
記入をお願いいたします

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主	6 パート
2 自家営業の手伝い	7 労働者派遣事業所の派遣社員
3 自宅での賃仕事（内職）	8 契約社員・嘱託
4 正規の職員・従業員	9 その他
5 アルバイト	

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1週間の勤務日数	通常		日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間		分			

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。
（記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）
2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3 あなたは今後出産する場合に、出産した後、現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（今後の出産を考えていない方は、「4 今後の出産は考えていない」に○をつけてください。）

1 出産した後も続ける	2 出産を機にやめる	3 続けるかどうか考えていない	4 今後の出産は考えていない
-------------	------------	-----------------	----------------

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問4 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	④で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のための 勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働（残業）の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

**この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方**

問5 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成23年11月～平成24年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	▶ 平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成23年11月～平成24年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成23年7月から平成24年6月までの場合、 <u>平成23年7月～平成24年6月</u> となります。
(3) (1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、2頁の問4の(3)と同様です。

すべての方

問6 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号一つに○をつけてください。また、卒業・中退・在学中のうちあてはまる番号1つに○をつけ、在学中でない方は、卒業（または中退）された年月を記入してください。

1 中学校	5 大学	1 卒業 2 中退 3 在学中 (休学等を含む) 卒業（または中退）された年月 1 昭和 2 平成 年 月
2 高校	6 大学院	
3 専門学校	7 その他	
4 短大・高専		

問7 現在、妊娠していますか。

1 している	2 していない・わからない
--------	---------------

問8 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間 分	休日	時間 分
----	--	----	--

問9 あなたは、**全部**で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、0人と記入してください。）

人

問10 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問11 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください（以下の質問についても同様です）。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

これまでに会社等に勤めたことがある方（アルバイト・パート等も含む）

問12 あなたがお勤めになっている（または勤めていた）会社等には、以下のような、仕事と介護の両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 介護のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたを利用するにあたっての 雰囲気はどうですか。	
(1) 介護休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない
(2) 所定労働時間の短縮等の 措置	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 利用経験がある 4 わからない

注：1）複数の仕事についている場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。

2）所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。

所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに類する制度

同居しているご家族に介護が必要な方がいらっしゃる方のみお答えください

問13 介護が必要な方の、平日の日中の世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 あなた	4 配偶者の父母	7 その他（知人・友人等）
2 配偶者	5 あなたの子ども	8 なし（介護サービス利用のみ等）
3 あなたの父母	6 その他の家族・親族	

すべての方

問14 この1年間（平成23年11月～平成24年10月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。
 なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

----- 1 した 2 していない

補問14－1 現在のお住まいの状況について、あてはまる番号1つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 〔※玄関・台所・便所・浴室などを 含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳2畳分＝約3.3㎡〕	居住室数 〔※玄関・台所・便所・浴室・ 廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチン は含めます。〕
1 持ち家	1 25㎡未満	室
2 民間賃貸住宅	2 25～50㎡未満	
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅	3 50～75㎡未満	
4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅	4 75～100㎡未満	
5 借間・その他	5 100～150㎡未満	
	6 150～200㎡未満	
	7 200㎡以上	

問15 お子さんはいますか。

----- 1 いる 2 いない -----> 7 頁の問16へお進みください

補問15－1 お子さんについて、年令の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居 の別	（同居している小学生の お子さんについて） 現在の放課後児童（学童） クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問15-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^{（注）} | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 利用していない |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

補問15-3 現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 あなた | 6 配偶者の母 |
| 2 配偶者 | 7 その他の家族・親族 |
| 3 あなたの父 | 8 その他（友人・知人等） |
| 4 あなたの母 | 9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます） |
| 5 配偶者の父 | |

補問15-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、利用を希望するものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^{（注）} | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 特になし |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

すべての方（最後まで）

問16 あなた及び同居している配偶者の、平成23年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「（1）あなたの所得」のみお答えください。

平成23年1年間の所得	
（1）あなたの所得 1 あり 金額 万円 2 なし	子ども手当の受給 1 あり 2 なし
（2）配偶者の所得 1 あり 金額 万円 2 なし	例：月収20万円 ボーナス40万円（年2回） その他の所得（不動産所得、子ども手当等） 年間10万円 の場合、 $20万 \times 12か月 + 40万 \times 2回 + 10万$ $= 332万円$ となります。

注：1）1万円未満は四捨五入してください。

2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。

3）その他の所得には、親からの仕送り、家賃の代金の財産収入、利子・配当金、子ども手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保険給付金などを含みます。

問17 あなた及び同居している配偶者が、平成24年10月の1か月間に支出した額を記入してください。
配偶者が別居している場合には、あなたが自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたや親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成24年10月の1か月間の支出	
（1）支出額 （（2）、（3）を含む）	万 千円
（2）うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
（3）うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり 金額 万 千円 2 なし
（4）親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1）支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。

2）千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

結果送付不要

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り
組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今
後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課世帯統計室
成年者縦断統計第一係
電話：(03)5253-1111(内線7592)
(03)3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日9:30～18:15)
Eメールa-cohort@mhlw.go.jp



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。

第11回21世紀成年者縦断調査【平成14年成年者】

国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（男性用）〕

(平成24年11月7日調査)



厚生労働省

(お願い)

お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

整理番号			

地区番号		単位区番号		世帯番号	

出生年月をご確認ください。……………→
記載されていない場合はご記入願います。

出生年月					
昭和			年		月生
2	平成				

問1 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月 平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている……………→

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である……………→

補問2-1～2-2へ
お進みください

3 仕事についていない

1 家事に従事している……………→

2 通学している……………→

3 その他……………→

3頁の問4以降の該当する項目に
記入をお願いいたします

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主	6 パート
2 自家営業の手伝い	7 労働者派遣事業所の派遣社員
3 自宅での賃仕事（内職）	8 契約社員・嘱託
4 正規の職員・従業員	9 その他
5 アルバイト	

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。勤務日数と就業時間については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

1 週間の勤務日数	通常	日	平均的な1週間の就業時間			時間
1日の片道の平均通勤時間		時間			分	

注：1）就業時間は、ふだんの1週間の就業時間を記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

（記入例：1日8時間、週5日働いた場合は、勤務日数5日、就業時間40時間となります。）

2）通勤時間は、日によって異なる場合は、それらを平均して1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 育児のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。	
(1) 育児休業制度	1 ある 2 ない 3 わからない	1 有給 2 無給 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(2) 短時間勤務制度	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない
(3) (1)、(2)以外の育児のため の勤務時間の短縮等 〔フレックスタイム制 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 所定外労働（残業）の免除〕	1 ある 2 ない 3 わからない		1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない	1 思う 2 思わない 3 現在利用している 4 わからない

注：複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

**この1年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、
かつ、現在、3歳未満のお子さんがいる方**

問4 あなたはこの1年間（平成23年11月～平成24年10月）に、次の制度を利用しましたか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、育児休業制度の利用ありの場合は、取得した期間（現在取得中の場合は予定期間）を記入してください。

制度の種類	利用の有無	育児休業取得期間（平成23年11月～平成24年10月の間）
(1) 育児休業制度	1 利用あり 2 利用なし	▶ 平成 年 月 ～ 平成 年 月
(2) 短時間勤務制度	1 利用あり 2 利用なし	※育児休業取得期間は、育児休業の開始から終了の期間が平成23年11月～平成24年10月にかかる場合に、実際の取得期間をすべて記入してください。 (記入例) 育児休業取得期間が平成23年7月から平成24年6月までの場合、 <u>平成23年7月～平成24年6月</u> となります。
(3)(1)、(2)以外の育児のための勤務時間の短縮等	1 利用あり 2 利用なし	

注：1) 複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2) (3)の内容は、2頁の問3の(3)と同様です。

**配偶者がいる方で、現在、配偶者が仕事についている方
(休業中、アルバイト・パート等も含む)**

問5 あなたの配偶者が、今後出産する場合に、出産した後も配偶者が現在の仕事を続けることを希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(今後の出産を考えていない方は、「5 今後の配偶者の出産は考えていない」に○をつけてください。)

1 出産した後も 続けてほしい	2 出産を機に やめてほしい	3 配偶者の意向を 尊重したい	4 わからない	5 今後の配偶者の出産は 考えていない
--------------------	-------------------	--------------------	---------	------------------------

すべての方

問6 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 中学校	5 大学	1 卒業 2 中退 3 在学中 (休学等を含む)	卒業（または中退）された年月 1 昭和 2 平成 年 月
2 高校	6 大学院		
3 専門学校	7 その他		
4 短大・高専			

問7 あなたは1日の中で、家事、育児・子どもの世話に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	----------------------	----	----------------------	---	----	----------------------	----	----------------------	---

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

問8 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、0人と記入してください。）

	人
---	---

これまでに会社等に勤めたことがある方（アルバイト・パート等も含む）

問9 あなたがお勤めになっている（または勤めていた）会社等には、以下のような、仕事と介護の両立のための制度であなたの就業形態で利用可能な制度はありますか。それぞれの制度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

制度の種類	① あなたの就業形態で 利用可能な次の制度は ありますか。	①で「ある」とお答えになった制度 についてお答えください。		④ 現在または今後、 介護のために 制度を利用したいと 思いますか。
		② その制度を 利用した場合の給与	③ あなたが利用するにあたっての 雰囲気はどうか。	
(1) 介護休業制度	1 ある	1 有給	1 利用しやすい雰囲気がある	1 思う
	2 ない	2 無給	2 利用しにくい雰囲気がある	2 思わない
	3 わからない	3 わからない	3 どちらともいえない	3 利用経験がある
(2) 所定労働時間の短縮等の 措置	1 ある	/	1 利用しやすい雰囲気がある	4 わからない
	2 ない		2 利用しにくい雰囲気がある	1 思う
	3 わからない		3 どちらともいえない	2 思わない
				3 利用経験がある
				4 わからない

注：1）複数の仕事についている場合は、一番長い時間働いた仕事についてお答えください。

2）所定労働時間の短縮等の措置とは、介護のために利用可能な以下のいずれかの制度を指します。

所定労働時間を短縮する制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、労働者が利用する介護サービスの費用の助成その他これに準ずる制度

配偶者と同居している方

⇒ 今回の調査はすべて終了です。

配偶者と別居している方

⇒ 引き続き該当する項目に記入をお願いいたします。

問10 同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
---	--------------

問11 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください（以下の質問についても同様です）。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

同居しているご家族に介護が必要な方がいらっしゃる方のみお答えください

問12 介護が必要な方の、平日の日中の世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-------------|-------------------|
| 1 あなた | 4 配偶者の父母 | 7 その他（知人・友人等） |
| 2 配偶者 | 5 あなたの子ども | 8 なし（介護サービス利用のみ等） |
| 3 あなたの父母 | 6 その他の家族・親族 | |

配偶者と別居しているすべての方

問13 同居しているお子さんはいますか。

- 1 いる 2 いない -----▶ 次頁の問14へお進みください

補問13-1 同居しているお子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	(同居している小学生のお子さんについて) 現在の放課後児童（学童）クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 年 月 2 平成 年 月	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください

補問13-2 現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 認可保育所（園） | 6 幼稚園が行っている預かり保育 |
| 2 事業所内託児施設 ^(注) | 7 幼稚園（預かり保育を除く） |
| 3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く） | 8 利用していない |
| 4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ） | |
| 5 ファミリー・サポート・センター | |

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

補問13-3 現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 あなた	6 配偶者の母
2 配偶者	7 その他の家族・親族
3 あなたの父	8 その他（友人・知人等）
4 あなたの母	9 なし（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます）
5 配偶者の父	

補問13-4 現在、利用を希望しているが利用できない保育サービスはありますか。ある場合は、利用を希望するものすべてに○をつけてください。

1 認可保育所（園）	6 幼稚園が行っている預かり保育
2 事業所内託児施設 （注）	7 幼稚園（預かり保育を除く）
3 認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	8 特になし
4 ベビーシッター、家庭的保育事業（保育ママ）	
5 ファミリー・サポート・センター	

注：あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

配偶者と別居している方は、引き続き最後までお答えください

問14 あなたの平成23年1年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

平成23年1年間の所得	
あなたの所得	1 あり 金額 万円 2 なし 子ども手当の受給 1 あり 2 なし
	例：月収20万円 ボーナス40万円（年2回） その他の所得（不動産所得、子ども手当等） 年間10万円 の場合、 $20万 \times 12か月 + 40万 \times 2回 + 10万 = 330万円$ となります。

- 注：1）1万円未満は四捨五入してください。
 2）わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
 3）その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、子ども手当、雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

問15 あなたが平成24年10月の1か月間に支出した額を記入してください。
なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成24年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾、水泳教室、音楽教室等に支払った費用〕	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含めませんが、耐久消費財の購入、冠婚葬祭の費用は含めます。
2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※調査結果が不要な方は右に✓をつけてください。

結果送付不要

☐

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課世帯統計室
成年者縦断統計第一係
電話：(03)5253-1111(内線7592)
(03)3595-2322(ダイヤルイン)
(平日の月曜日～金曜日9:30～18:15)
Eメールa-cohort@mhlw.go.jp



政府統計

このマークは、統計法に基づく国の統計調査であることを示し、提出いただいた調査票情報の秘密の保護に万全を期すことをお約束するものです。